

最後の年を充実したものに

さつま町立流水小学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

流水小学校は、さつま町の湯田地区にあり、遠くは紫尾山を臨み、近くにはホテルも乱舞する川内川の清流が流れています。学校の周辺には田園風景が広がり、子どもたちの豊かな感性や情操を育てるには絶好の環境となっています。

本校は、本年度で145年の歴史に幕を閉じ、隣の鶴田小学校と再編統合し、新鶴田小学校として、来年4月から新たな一步を踏み出すこととなっています。先日9月23日には、流水小学校としては最後となる、閉校記念運動会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大を受けて、地域が参加しない半日での開催となりましたが、素晴らしい秋空のもと、児童やその保護者と家族、卒業生、来賓の方々等が一体となって運動会を盛り上げ、



最後に締めくくるのにふさわしい素晴らしい運動会になりました。特に、最後の種目「ありがとう！流水小学校」では、約150名の参加者全員が、校旗をバトン代わりにリレーしながら、マイクを片手に思い出や流水小学校への思いを語ってくれました。「一番楽しい運動会だった。」「流水小学校での毎日は楽しかった。」「流水小学校の卒業生でよかった。」「流水小学校を卒業したか

った。」等、運動会の達成感や楽しかった思い出、学校への愛着、惜別の思い等、様々な思いが語られました。

このように素晴らしい運動会を開催できたのは、何よりも子どもたち一人一人が目標を持って、努力を重ねたり、互いに協力したりしたからだと思います。また、それを保護者や家族、卒業生、地域の方々などが支えてくださったからだと思います。運動会だけでなく、このような目標に向けた子どもたちの努力の継続と、それを支える家族や地域の取組は毎日の活動に存在し、流水小学校の大きな力となっています。



運動会という節目の行事は終わりましたが、まだまだ流水小学校の歴史は終わりません。来年の3月まで、一日一日を大切に、充実させていくことが我々流水小学校児童とそれを導く教職員の使命です。

6名の卒業生が流水っ子のプライドを胸に中学校へ巣立つことができるようにすると共に、30名の在学生在が夢と希望を持って新鶴田小学校での学校生活をスタートすることができるように努力していきたいと思ひます。

これまでも、流水小学校のラストチャレンジの日々を温かく見守っていただけたらと思ひます。よろしくお願ひいたします。